

1 単元名 Hi, friends 2 Lesson 5 「Let's go to Italy.」

2 単元について

本単元は、児童が行きたい場所について答える表現に慣れ親しむことを目標としている。“Where do you want to go?”“I want to go to ○○.”という表現は、前単元 Lesson 4 “turn right.”で慣れ親しんだ道案内の表現と合わせて、「自分が外国に行ったとき」「日本で外国の人に話しかけられたとき」など、児童にとって今後の生活の中で使われる場面が想像しやすい表現である。また、行きたい場所について答えたりする表現は、相手がいることで成り立つ表現である。そのため、より聞きたい、言いたいという思いをもって、他者とコミュニケーションを図ることが期待できる。表現に慣れ親しませるには、音声をたくさん聞かせることが大切だと考える。基本的な表現に関わる音声を多く聞かせるために、聞く必然性がある場面を設定したり、慣れ親しめる手立てを施したりし、児童が主体的に学習できるようにする。また、世界には様々な国や文化があることに気付くこともねらいとしている。日本語と英語表現の違いや、それぞれの国の文化の特徴に触れながら、世界の国々に対しての興味やコミュニケーションへの関心、意欲をもつことにつなげたい。

3 児童の実態について

<省略>

本単元の基本的な表現である“Where do you want to go?”, “I want to go to ○○.”に慣れ親しんだり、言語や文化の違いに気付いたりすることで、コミュニケーションの楽しさや喜びを味わい、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童を育てたい。

<省略>

4年生では、聞くことを大事にした手立てを施し、英語の音声に多く触れさせることで外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しめるようにしていく。

また、本学級の児童は、外国語を用いて ALT や JTE と体験的にコミュニケーションをとり、言葉の面白さや外国語と日本語の表現の違いに気付いている様子がみられる。本単元では、国名や場所など、日本語と英語の音の違いに気付かせながら体験的に理解を深められるようにしたい。

<省略>

4 単元のねらいと評価の観点

- ・自分の行きたい場所について答え、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・行きたい国や場所について答える表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】
- ・世界には様々な国があり、様々な生活や文化があることに気づく。
【言語や文化に関する気づき】

5 研究主題との関連

<省略>

研修を進めるにあたって、次のような仮説を設定した。

仮説

学級経営を基盤とし、「人・もの・自分とのかかわり」に着目した、学習活動を意図的・計画的に展開すれば、コミュニケーション能力を育むことができるだろう。
--

柱1	人の考え・思いにふれる（「学び合い」を通した、気づきのある学習展開）
----	------------------------------------

【具体的な手立て】

- ① 英語に慣れ親しむゲームやメインの活動を単元を通して行い、友達の話していることや考え、思いを聞き、自分の考えと比べさせる。
- ② JTEやALTが話している英語表現を聞き、日本語と英語の発音や表現の違いに気づかせる。
- ③ 学習内容を段階的に設定しながら単元全体や本時の学習の見通しを持たせ、学習意欲を喚起する。
- ④ 自分の言葉で振り返ることで学習の高まりに気づかせる。

柱2	めあてとする表現になれる（音声にたくさん慣れ親しませるための手立て）
----	------------------------------------

【具体的な手立て】

- ① Sit Down Gameを単元を通して行い、めあてとする表現にできる限り多く触れるようにし、英語の音声を聞き貯めさせる。
- ② 英語で表現したい思いを喚起する活動を取り入れ、学ぶ必然性を感じながら英語の音声に慣れ親しませる。
- ③ 手遊びや体を動かしながら英語の歌を歌い、楽しく活動することで英語の音声に慣れ親しませる。
- ④ 教師やJTE・ALTが正しい英語表現で繰り返し児童に質問したり、聞かせたりして音声に慣れさせる。

柱3	言語や文化にしたしむ（日本人としてのアイデンティティに関する内容の設定）
----	--------------------------------------

【具体的な手立て】

- ① 国名の中には「アメリカ」や「ブラジル」のように、日本語で聞き覚えのある表現や初めて聞く国名の言い方等、教師やJTE・ALTのアクセントを聞き、英語と日本語の発音や表現の違いに気づかせる。
- ② 外国の生活の様子を写真やイラストで紹介し、日本と外国の違いを知り、多様なものの見方や考え方があることへの理解を深めさせる。

6 単元の指導計画・評価規準（4時間扱い）

時	○目標・活動	評価				
		コ	慣	気	評価規準	評価方法
1	<p>○英語での国名の言い方を知り、日本語での表現との違いに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sit Down Game 「宮代町にある建物や場所で知っている所は？」 • Song 「The Farmer in the Dell」 • えいごリアン • Hi, friends • どの国に行きたい？ 			○	英語での国名の言い方を知り、日本語での表現との違いに気づいている。	行動観察・振り返りカード
2	<p>○行きたい場所について答える表現の仕方に気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sit Down Game 「どの観光地へ行きたい？」 • Song 「The Farmer in the Dell」 • Hi, friends 			○	行きたい場所について答える表現に気づいている。	行動観察・振り返りカード
③ 本時	<p>○行きたい場所について答える表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sit Down Game 「知っているテーマパークは？」 • Song 「The Farmer in the Dell」 • どの場所（テーマパークなど）に行きたい？ • Who am I ゲーム 		○		行きたい場所について答える表現に慣れ親しんでいる。	行動観察・振り返りカード
4	<p>○自分の思いが伝わるようにおすすめの場所について話したり、友達の話の聞いたりしようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Sit Down Game 「自転車に乗ってどこに行きたい？」 • Song 「The Farmer in the Dell」 • おすすめツアー 	○			自分の思いがはっきり伝わるようにおすすめの場所について話したり、友達の話の聞いたりしようとしている。	行動観察・振り返りカード

7 本時のねらい
 行きたい場所について答える表現に慣れ親しむ。 【外国語への慣れ親しみ】

8 本時の展開 (第3時 / 4時間)

過程	児童の活動	教師の働きかけ		◇指導上の留意点 ◎評価【観点】〈方法〉	資料	時間
		HRT	JTE			
ウォーム・アップ	1 挨拶をする。			◇自然に気持ちよく挨拶させる。		1
	<p>HRT : "Let's start today's English lesson." JTE : "Good morning(Hello),Everyone. How are you?" 児童 : "I'm fine, thank you . And you?" JTE : "I'm fine, thank you. "</p>					
	2 Sit Down Game をする。 「知っているテーマパークは？」	<ul style="list-style-type: none"> 知っているテーマパークについて言えた児童から座らせる。 	"Who knows○○?" "Oh, you know ΔΔ." "OK! Sit down."	◇児童の答えは日本語であっても、それを担任とJTEは英語で繰り返して聞かせる。	写真イラスト	9
3 Song 「The Farmer in the Dell」を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> 繰り返し何度も聞かせる。 	児童と共に歌う。	◇歌詞に着目させたり、何度も聞かせることで音声やリズムに慣れさせる。	CD	7	
レッスン・チャレンジ	4 Main-1 「どこの場所(テーマパークなど)に行きたい？」	<ul style="list-style-type: none"> 知っている場所について考えさせる。 提示したテーマパークの中で行きたい場所を考えさせ、want to go の音声に慣れ親しませる。 	"Where do you want to go?" "Oh, you want to go to ○○○." "Oh, you want to go to ΔΔΔ."	◇ねらいとする表現に慣れ親しむ学習活動であることに教師は留意する。 ◎行きたい場所について答えたりする表現に慣れ親しんでいる。 【外国語への慣れ親しみ】〈行動観察〉	写真イラスト	12
	5 Main-2 Who am I ゲームをする。 「どこの場所に行きたい？」	<ul style="list-style-type: none"> 行きたい場所について考えさせる。 ワークシートに書きこむ。 ワークシートを回収し、児童が答えた内容を読み上げる。 誰の答えか予想させる。 	"I want to go to ΔΔΔ." I want to go to ○○○. I want to go to □□□. Who am I?"	<ul style="list-style-type: none"> 行きたい場所を選ぶのに迷った場合は、Main-1で学習したテーマパークなどから選んでもよい。 行きたい場所は3カ所までとする。 ねらいとする英語表現を繰り返し何度も聞かせる。 	ワークシート	9

ト ツ プ ・ オ フ	6	振り返りを行 う。	・慣れてきたこ とを自分の 言葉で振り 返らせる。	・振り返りシー トを配る。	◇慣れてきたこと について書くよう 声かけをする。	振 り 返 り シ ー ト	6
	7	挨拶をする。			◇英語表現で挨拶を させる。		1
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>HRT : "That's all for today's lesson !"</p> <p>児童 : "Thank you , Mr.○○."</p> <p>JTE : "Thank you, too."</p> <p>児童 : "Thank you , Mr.○○."</p> <p>HRT : "Thank you,too. See you next time."</p> </div>							